

## 令和元年度 第3回赤磐市教育委員会定例会議事録

- 1 開会日時 令和元年 6 月 1 8 日 (火) 午後 3 時 0 0 分
- 2 閉会時間 午後 3 時 4 2 分
- 3 会議場所 赤磐市立中央公民館 3 階 講座室
- 4 出席委員 教 育 長 内 田 恵 子  
教育長職務代理者 大 崎 陽 二  
委 員 山 本 賢 昌  
委 員 平 松 由 香  
委 員 遠 藤 益 恵
- 5 説明者 教 育 次 長 藤 井 和 彦  
教育総務課長 安 本 典 生  
学校教育課長 家 森 康 彰  
社会教育課兼  
スポーツ振興課長 土 井 道 夫  
中央公民館長 杉 原 泉  
中央図書館長 矢 部 寿  
中央学校給食  
センター所長 久 山 勝 美  
教育総務課  
主 幹 金 谷 紀 子
- 6 書 記

## 議 事

### 1 教育長等の報告

- 公 開 教育長の報告について
- 公 開 7月の教育委員会行事予定について
- 公 開 寄附採納について

### 2 協議

- 公 開 学校給食業務に係る民間事業者への業務委託基本方針（案）について

### 3 その他

- 公 開 第17回永瀬清子賞募集について
- 公 開 現代詩講座「詩のピクニック」公開講座「薄田泣菫 その文学と人生」の開催について
- 公 開 赤磐市東京2020ホッケー競技国内キャンプ誘致活動について
- 公 開 聖火リレーランナーの募集について
- 公 開 吉井中学校プール開所式について
- 公 開 次回定例会開催日について

※非公開の議事については、議事録は公開されません。

○内田教育長 ただいま定刻の午後3時となりました。出席委員が定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

これより令和元年度第3回赤磐市教育委員会定例会を開会します。

本会の議事録に署名する委員として、山本委員を指名します。

本会の議事録作成の職員として、教育総務課金谷主幹を指名します。

前々回、平成31年4月18日開催の第1回教育委員会定例会の議事録につきましてお目通しをいただき、ご異議等がなければご承認をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 それでは、第1回教育委員会定例会の議事録につきましてはご承認をいただいたということで取り扱いをお願いします。

続きまして、議事に移りますが、本日の会議に付議された案件は、(1)教育長等の報告、(2)協議、(3)その他についてです。

それでは、(1)教育長等の報告に移ります。

初めに、教育長の報告について報告します。

1枚おめくりください。

今回、5点につきましてピックアップしてお話しさせていただきます。

まず、5月29日、東備租税教育推進協議会がありました。これは、児童・生徒に国や地方の財政を支える税の意義や役割について正しく理解してもらうためにこの協議会が立ち上がりました。そして、社会の構成員として正しい判断力と健全な納税意識を養うことを目的としてこの協議会が活動されておられます。情報交換等を行いました。

ちなみに、市内では8小学校でこの協議会をお願いして租税教育を行っています。あとの学校は複式とか調整がつかないということで昨年度は実施していません。中学校では2つの中学校が出前講座を依頼しておりました。

同日、チャレンジデー2019が行われました。お世話になりました。結果につきましては、後で担当のほうからお話があると思います。

では次に、5月31日、国際ソロプチミスト来庁ということですが、これは各小・中学校に生理用品を寄贈していただき、その目録の手渡しがありました。

6月1日、中学校の体育会、お世話になりました。私は吉井中学校に行ったんですが、67名がアイデアを凝らした競技でした。それぞれの学校で、多い少ないがいろいろ

けれども、生徒のアイデアに富んだ競技が展開されたのではないかと思います。

6月5日、岡山県水害防止特別訓練が行われました。これは、県が実施する水害特別防災訓練に参加して、風水害に対する市の災害対策本部の応急対応力の向上を図ることを目的としてとり行われました。9時から5時までというがっちりとしたスケジュールの中で、台風A号接近という想定でさまざまな状況のもとでどのように対応していったかというのをSOMPOリスクマネジメント株式会社の方も参加されての図上訓練を行いました。

以上、ピックアップしての報告とさせていただきます。

質疑、ご意見がありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 質疑なしと認めます。

では次に、7月の教育委員会行事予定についての報告を求めます。

○安本課長 教育長。

○内田教育長 教育総務課長。

○安本課長 教育総務課安本。

それでは、資料のほう2ページ、3ページをお願いいたします。

令和元年7月の教育委員会行事予定につきまして、各所属から報告を申し上げます。

まず、2ページ一番左側の教育委員会行事についてでございます。

7月4日木曜日、第1回の事務点検評価委員会を1時半から、また5日金曜日、庁議、14時30分から、そして10日水曜日、戦没者追悼式、10時から、そして3ページになりますが、16日火曜日、教育委員会所属長会、10時から、それぞれ教育長の出席でございます。

続いて、17日水曜日ですが、岡山市町村教育委員会連絡協議会総会、13時から、教育委員の皆様、出席でございます。よろしくをお願いいたします。

19日金曜日、岡山県事務所管内教育長連絡会議、14時から、総合計画策定本部会議・あかいわ創生推進本部会議、17時から、22日月曜日、旭東地区協議会、9時から、そして24日水曜日、魅力化推進協議会、13時30分から、それぞれ教育長の出席でございます。

25日木曜日、教育委員会協議会を14時から、教育委員会定例会を15時から、教育長、教育委員の皆様の出席でございます。よろしくをお願いいたします。

29日月曜日、まちづくり審議会・赤磐市創生有識者会議、14時から、教育長の出席でございます。

教育総務課からは以上でございます。

○内田教育長 学校教育課長。

○家森課長 学校教育課家森です。

先ほどの欄の隣をご覧ください。学校教育課の予定です。

7月前半には、学事訪問と要請訪問を行う日程がそこに入っています。そこはまた資料のほうをご覧ください。

7月2日には、道徳充実拠点校事業の公開授業が磐梨中学校で行われます。

5日、県幹部の市教育委員会の訪問があります。これは9時となっていますが、9時半からです。訂正をお願いいたします。

同日、山陽北小学校、高陽中学校で地域教育の協議会、また実行委員会が開かれます。

6日、7日は、教職員採用試験の1次試験が行われます。

9日、校舎長会が14時から行われます。

翌日、教頭会を高陽中学校で14時半から行います。

3ページに行きまして、16日、学校警察連絡協議会を行います。15時から中央図書館で行います。

19日は1学期の終業式です。

夏休みに入って23日から、23、24、25と就学相談をそれぞれの地区で行います。また、市教委のほうが出向いて各学校の諸表簿の点検を24日、26日、31日の3日間で行います。

29日には、赤磐市学童水泳記録会をふれあい公園のプールで10時から行います。

以上です。

○土井課長 教育長。

○内田教育長 社会教育課長。

○土井課長 それでは、社会教育課とスポーツ振興課をあわせて説明させていただきます。

まず、社会教育課のほうでございますけど、7月3日の水曜日に第二次山陽遺跡整備委員会を10時から中央公民館で行います。

7月6日の現代詩のピクニックですけど、後からご説明させていただきますけど、薄田

泣菫の講座をするということで中央公民館のほうでいたします。

7月7日日曜日、体験活動推進員養成講座ということで、赤坂の健康管理センターで9時15分から行われます。

あと、7月16日から8月16日、記念物100年展ということで山陽郷土資料館で1カ月間展示をいたします。

あと、青少年健全育成ブロック会議を中学校区5つをそれぞれ7月30日までかけて、5ブロックに分けて開催いたしますので、教育委員の皆様にはそれぞれのブロックでのご出席をまたよろしく願いいたします。

7月31日につきましては、夏休みじんけん学習講座ということで広島県の竹原市の大久野島の毒ガスのところにまた学習講座に行くということで予定しております。

それから、スポーツ振興課のほうですけど、7月14日日曜日、吉井地域のソフトボール大会を吉井B&G海洋センターで行います。

それから、もう一つ漏れとんですけど、翌15日にジュニアグラウンドゴルフ教室を中島のグラウンドゴルフ場で朝9時ごろからするというので、すいません、これが漏れていますけど、よろしくお願ひしたいと思います。

以上、社会教育、スポーツ振興課から説明させていただきました。

○内田教育長 公民館長。

○杉原館長 中央公民館杉原です。

それでは、公民館の7月の行事予定について主なものを説明させていただきます。

子どもの居場所づくり事業として開催しております西山公民館の7月思い出作り教室は、平日火曜日、日曜日、祝日を除き開催中でございます。

また、中央公民館でも1日、8日と放課後子ども教室を実施いたします。

続いて、6日、笹岡公民館で童謡・唱歌であそぼうを開催します。童謡、唱歌に振りつけをして大声で歌い、頭と体のトレーニングを行う講座です。

12日、赤坂公民館で月面のクレーターと木星を見る星空探検隊、それから15日、竜天天文台で吉井公民館が月をカメラで撮影する天文教室を開催する予定です。

22日以降は夏休みにちなんだ講座を各公民館で実施予定です。熊山公民館、西山公民館で工作教室、書道教室、それから同じく熊山公民館、吉井公民館では作文教室も開催予定です。

そのほか27日、赤坂公民館ではドキドキサイエンス教室、28日はあかさかネイチャ

ーサイエンス教室を開催いたします。こちらのほうは八塔寺の八塔寺川流域で上流の生き物探しや川流れ体験、水質検査等行う予定です。

公民館は以上です。

○内田教育長 中央図書館長。

○矢部館長 中央図書館矢部です。図書館の行事について説明いたします。

まず、毎月の定例のおはなしかい等を各館4館で行います。

それから、講座につきまして7月3日水曜日、絵本の読み聞かせ講座特別編を開催します。これは、6月に2回行ったものの続きになりまして、特別編というのは読み聞かせのときに一緒に行くことも多いペープサートの講座となっております。

それから、ずっと下がりました28日日曜日に知っトク講座を開催します。こちらは、今回はくらし安全課との連携で天気と防災を絡めた内容となっております。

それから、ちょっと戻るんですが、7月5日金曜日に赤磐市図書館協議会を開催の予定です。

以上です。

○内田教育長 学校給食センター長。

○久山所長 給食センター久山です。

それでは、給食センターの行事予定を説明させていただきます。

1 日月曜日、栄養士会ということで1時半から中央給食センターで行います。

1 1 日木曜日、赤磐市立学校給食共同調理場運営委員会、1時半から中央給食センターで行います。教育長、関係委員さんの出席をよろしくお願いいたします。

1 9 日金曜日、1学期給食最終日となります。

2 3 日火曜日、学校給食研究協議大会ということでコンベックス岡山で10時からあります。

2 5 日木曜日、衛生研修会。これは赤磐市独自の衛生研修会です。9時から中央給食センターで行います。

給食センターは以上です。

○内田教育長 ただいまの報告に対し、質疑、ご意見はありませんか。

山本委員。

○山本委員 2つあって、1つは教育委員会行事の一番左の端の24日の魅力化推進協議会というのはどんなものなのかというのを教えていただきたいのと、もう一つは学童水

泳記録会のスタートはというふうにしとんかなというのがちょっと気になつとる。飛び込みをしとるというのを聞いたことがあるんですが。

○内田教育長 教育総務課長。

○安本課長 これは和気高校がやっております事業でございます。地域に開かれた学校ということで赤磐市に何か協力できないか、瀬戸高校さんが今されているようなものをイメージしていただければと思います。地域課題などを一緒に解決していったり、新しい取り組みをつくっていこうという協議会へ参加していただくというものでございます。

○内田教育長 水泳記録会の件ですけれども、飛び込みはしていません。水中からのスタートです。

○山本委員 わかりました。ありがとうございます。

○内田教育長 ほかにはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 ほかにはないということで、次に進みます。

では次に、寄附採納についての報告を求めます。

○家森課長 はい、教育長。

○内田教育長 学校教育課長。

○家森課長 学校教育課家森です。4ページをごらんください。

匿名希望の方から寄附がありました。桜が丘小学校へ50万円です。寄附の目的は、子どもたちの健全育成支援のためにということでいただきました。

赤磐市として、桜が丘小学校に寄附として採納しています。補正予算を組んで桜が丘小学校の児童のために使うということで今計画をしています。

以上です。

○内田教育長 ただいまの報告に対し、質疑、ご意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 質疑なしと認めます。

では続いて、(2)協議に移ります。

学校給食業務に係る民間事業者への業務委託基本方針(案)について事務局から説明を求めます。

○久山所長 教育長。

○内田教育長 学校給食センター長。

○久山所長 給食センター久山です。

それでは、給食センターのほうから学校給食業務に係る民間事業者への業務委託基本方針（案）について説明をさせていただきます。

資料は5ページから11ページとなります。

まず、資料の5ページ、1、学校給食の役割から資料9ページの7、安全性の確保と衛生管理については、今まで説明してまいりました学校給食の役割であるとか、事業の目的、施設の概要、委託する場合の業務の範囲、職員の処遇、衛生管理等についてお示しをしております。

それから、資料の9ページ、8の業務委託の基本的条件及び要点から10ページの12の調理業務等に従事する者については、1月下旬、市内中学校区内5カ所においてPTA役員対象に説明会を実施し、そのとき出されました安全・安心のためのご意見を考慮し、安心・安全な学校給食の提供のため仕様書に明記すべき項目と考えております。

主な項目を説明させていただきますと、まず8番ですけど、業務委託の基本的条件及び要点については、現在ある市の所有する給食施設を使用して業務を行うこと。献立作成、食材の購入は今までどおり栄養教諭が行うこと。衛生管理についても今までどおりの定められた衛生管理基準に基づいて行うこと。

9、委託業者の要件については、受託実績があり、業務を継続的かつ安定的に遂行できる能力を有していること。

10、委託業者の選定方法については、教育目標を達成する上で特殊で専門性を要する業務である観点から、通常の入札方法ではなくプロポーザル方式を採用すること。

11、調理業務等の委託契約内容については、安全・衛生を確保する運営体制をとり、関係法令を遵守すること。重大事故が発生した場合の受託業者の責任と損害賠償の所在や不適切な行為に関する解約事項を定めること。最終的には市が責任を持って解決に当たること。

12、調理業務等に従事する者については、受託業者の栄養士、調理師等の資格者や給食業務の経験者を一定数確保すること。社員に指定された法定検査を受診させること。業務に係る研修を受講させることなど、重要な項目と考えております。

今後については、8月中に一般保護者への説明会を実施し、令和2年9月から中央給食センターの調理業務等において民間事業者への業務委託の実施に向けて準備をしてまいりたいと考えております。

その後については、民間と直営を比較検証し、次の段階へ進めていく計画でございます。

説明は以上です。

○内田教育長 ただいまの説明に対し、質疑、ご意見はありませんか。

山本委員。

○山本委員 受託業者というのに、ある業者がもしも倒産してしまっただけでできなくなったときに、すぐバックアップできるような保証人をつけるみたいなのが要件になっていますか。

○久山所長 はい、教育長。

○内田教育長 学校給食センター長。

○久山所長 詳しい仕様書の中に、その業者がだめな場合に次のサポートする業者を指定してもらおうようにしたいと考えています。

○内田教育長 ほかにはご質問ありませんか。

○山本委員 はい、もう一つ。

○内田教育長 山本委員。

○山本委員 業者を選ぶのに学校給食調理業務等委託選定委員会というのを設置するみたいなんですけども、これ、銀行の関係者とか、そういう経営をちゃんと見られる人が委員に入るといふほうがよろしいんですけど。

○久山所長 はい、教育長。

○内田教育長 学校給食センター長。

○久山所長 必要な書類を応募のときに出してもらうんですけど、経営状態がわかるような書類も出していただきますので、それを見て書類選考というのもありますので、そういったことわかる方も委員になっていただけたらというふうには考えています。

○内田教育長 ほかにはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 ほかにないようです。

令和2年9月に、一部の民間業者の力をかりた給食の提供を開始するというこの手順がそこに載っています。安全・安心、安定的な供給が第一ということを考えてこれからいろいろと検討しながら詰めていきたいと考えています。またお気づきのことがありましたら、ご意見等よろしくお願いたします。

では続いて、(3) その他の案件に移ります。

第17回永瀬清子賞募集についての説明を求めます。

○土井課長 教育長。

○内田教育長 社会教育課長。

○土井課長 社会教育課の土井です。

それでは、お手元の資料の12ページをお開きください。

第17回永瀬清子賞ということで、毎年永瀬清子の命日の近くに永瀬清子の詩の朗読会をいたします。そこで表彰するんでございますけれど、県内の小・中学校の生徒に詩の作品を募集いたしまして、6月1日から9月30日まで募集して、それを選考しながら先ほど言いました永瀬清子の命日に表彰するというので、募集を市内、また県内の小・中学校ということで募集いたします。

昨年につきましては、応募総数が454点ありまして、応募校数が29校ということで、小学校20校、中学校8校、中等教育学校1校ということでございます。昨年の表彰につきましては、市内の小・中学校はもとより県内の学校の方も表彰したということでございます。今年も広く募集して、より詩の応募を皆さんにしていただければと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○内田教育長 ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 では、質疑なしと認めます。

では次に、現代詩講座「詩のピクニック」公開講座「薄田泣菫その文学と人生」の開催についての説明を求めます。

○土井課長 教育長。

○内田教育長 社会教育課長。

○土井課長 社会教育課の土井でございます。

それでは、お手元の資料の13ページをお開きください。

先ほどの7月の予定のときに7月6日ということで、「薄田泣菫その文学と人生」ということで現代詩講座詩のピクニックということでさせていただきます。

これにつきましては、永瀬清子との関係が何があるのかといいますと、実際に薄田泣菫

さんは明治生まれでございますけれど、永瀬清子が10代のころ薄田泣菫さんの詩や随筆を愛読しており、泣菫のように新聞のコラムニストになりたいと考えていたことがありました。実際には、生前に会うことはなかったそうです。本年3月に刊行された、この方は倉敷の出身なので、薄田泣菫の文庫調査研究プロジェクトチーム編で永瀬清子が薄田泣菫の詩について書いたエッセイを収録していただいた関係で今回、詩のピクニックということで公開講座をするようにしております。

募集が50ということでなっとんですけど、現在もう28名の応募があるということでございます。

薄田泣菫の文庫については5月24日付の山陽新聞でも公開されて、中央図書館と熊山図書館にも配付、それぞれ読めるようにさせていただきました。

以上、詩のピクニック公開講座について説明させていただきました。

○内田教育長 ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 質疑なしと認めます。

では次に、チャレンジデー2019の結果報告についての説明を求めます。

○土井課長 教育長。

○内田教育長 スポーツ振興課長。

○土井課長 スポーツ振興課の土井でございます。

それでは、チャレンジデー2019の結果報告ということで、お手元の資料の15ページをお開きください。

今年のチャレンジデーは5月の最終ということで、5月29日に対戦相手が秋田県能代市ということでさせていただきました。

参加率につきましては、今までで一番いい参加率でございましたけれど、相手の能代市がそれ以上の参加率ということで惜しくも負けました。今回10回目の参加ということでございます。しかし、笹川スポーツ財団より参加率が50%以上の場合は金メダルの認定式があるということで金メダルはいただけます。

皆様方には、それぞれチャレンジデーの参加並びに啓発をしていただき、本当にありがとうございました。

16ページを見ていただければわかるんですけど、チャレンジデーのときにいろいろと市でも催しをしまして、空き缶積み上げ大会、これがチャレンジデーで全国の統一のイ

ベントでございまして、これにつきまして山陽ふれあい公園でスポーツ推進委員の方の協力によって実施させていただきまして、この結果を見ていただければ、1位が赤磐市です。3位も赤磐市。あと、7位も赤磐、10位も赤磐ということで、今回空き缶積み上げをするときにスポーツ推進委員さんのレクチャーもありまして、本当に1位、3位になったということでこれも表彰されるということで、8月23日に金メダル授与式のときに表彰されるということでございます。

ただ、副賞があるかどうかいうのはちょっと未定でございますけれど、全国で65チーム参加の中で上位10位の中に4チーム入っておって、なおかつ3位の中に2チーム入ったということで、「5年生になった」というチームの方も毎年のチャレンジデーの空き缶積み上げだけでなく、それぞれスポーツ推進委員さんにご協力を得たそれぞれのイベントにも参加していただきながら、かなり回数を重ねた結果、このように全国で1位ということになりました。本当にこれが参加した唯一のいい報告かなと思っております。本当にすばらしいし、1位でよかったですと思います。

この下のほうに赤磐市の参加チーム、14チームのそれぞれの順位を書いておりました、皆様それぞれに頑張ってもらったということでございます。

以上、チャレンジデーの結果報告についてをさせていただきました。

○内田教育長 ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 質疑なしと認めます。

では次に、赤磐市東京2020ホッケー競技国内キャンプ誘致活動についての説明を求めます。

○土井課長 教育長。

○内田教育長 スポーツ振興課長。

○土井課長 スポーツ振興課の土井でございます。

それでは、お手元の資料の17ページをお開きください。

第3回の赤磐市東京2020ホッケー競技国内キャンプ誘致実行委員会の会議報告ということで、5月28日にした会議内容を記述しております。

協議内容といたしましては、スローガンについて、あと組織と役割についてを協議いたしました。

スローガンにつきましては、オリンピック開催機運の醸成、ニュージーランド代表女子

ホッケーチームとの交流、赤磐市全体でオリンピックへの意識・関心の高揚のため、18ページをごらんいただければ、「2,020人のボランティア・応援サポーターでニュージーランド代表女子ホッケーチームを支えて今年のキャンプを成功させよう！」のローガン掲げ、組織、役割についてはこれらの活動をスムーズに行うため、推進体制の強化のために市職員によるプロジェクトチームを設置するとともに、区長会など各種団体に協力を求めることとして承認された次第でございます。

ということで、キャンプ誘致活動の途中経過になりますけれど、報告をさせていただきました。

○内田教育長 ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 この盛り上がり、ボランティアや応援サポーターではないけれども、またご協力のほどよろしくお願いいたします。

では次に、聖火リレーランナーの募集についての説明を求めます。

○土井課長 教育長。

○内田教育長 スポーツ振興課長。

○土井課長 スポーツ振興課の土井でございます。

それでは、聖火ランナー募集についての説明をさせていただきますので、一番最後の20ページをお開きください。

今日の山陽新聞にも聖火リレーのことについて掲載されておりましたけれど、聖火リレーにつきましては6月1日に東京オリンピック聖火リレーのルート発表がありまして、赤磐市でもそのルートになりました。

来年の3月26日に福島県を出発して全国を回り、喜びや情熱をつなげていきます。岡山県においては、来年の5月20日から21日、2日間かけて12の市町をめぐる予定です。赤磐市につきましては、5月21日に玉野、真庭、赤磐、美作、奈義、津山ということで回ります。

聖火ランナーで赤磐市には2人の割り当てが来まして、今後、赤磐市及び岡山県実行委員会において選考を実施しまして、最終的には東京2020組織委員会で決定されます。これにつきましては、今年の12月ごろに発表されるということでございます。

応募などにつきましては、岡山県ホームページ及び赤磐市のホームページ並びに広報あ

かいわの7月号でお知らせするようにしております。広く募集をかけております。ただ、応募条件としては、一番下にありますが、2008年4月1日以前に生まれた人で赤磐市にゆかりのある人で、現時点または過去に居住していた、現時点で所属している職場や学校がある、家族や親戚が居住している、過去に活動したことがあるなどで、それぞれ自分の思いを書いていただいて選考するようになっておりますので、また皆様で聖火リレーでランナーになりたい方は応募していただければ選考させていただいて、来年の5月21日に赤磐市を、ルート発表はまだ12月になりますけれど、走っていただければということでございます。

ただ、公募は赤磐市は2人なんですけれど、実際には2キロ以上のところを13人程度で走ると。その中の2人を赤磐市ということで、あとはスポンサーが走るということでございます。実際には1人が約200mほどを走るということです。聖火を持って。ということで、募集の報告をさせていただきました。

以上です。

○**内田教育長** ただいまの説明に対し、質疑はありませんか。

山本委員。

○**山本委員** 赤磐市内を2キロ走るんですか。

○**土井課長** そう。市内のどこかのルートを2キロで、その中を13人程度に分けて、その1区間を走っていただく。実際の赤磐市の枠は2人なんですけれど、岡山県内の全部の市町では必ず1人以上出すということで、ルートに決まったところがプラス1ということで2人ということで、ここに書いとる井原から津山までは全部2人は選考されるということでございます。

あとは、ほかの企業なんかは自分ところで公募しとって、それについてはひょっと赤磐市の方が赤磐で走る可能性もあるかもしれません。ただ市としては2人の方しか走れない。それも制約があるということで、また条件等を見ていただければわかるんですけど、政治家の方とか宗教団体の方はだめということで。

○**山本委員** あともう一つ。ルートが玉野市、真庭市、赤磐市なんですけれど、途中は何かで運ぶんですか。

○**土井課長** 多分高速道路で行かんと1日で、大体1つの町が1時間程度のパレードなんで、結局皆さんに周知するということで300メートルほどバスとかいろいろあって、それで沿道に皆さんがおって、いろいろ配り物をしながらのパレードです。ただこういう県

道とか市道を交通整理しなくてはいけないということで、その辺では県警さんと話をしながら、1時間ほど止めにやおえんので、その辺のこともやっていくようにはなっております。

○山本委員 赤磐市がちょうど真ん中辺になつとる。お昼ごろになりますか。

○土井課長 詳しいルートにつきましても12月ごろいうことで発表いうことでございます。ただもう赤磐市は走るいうことはまず間違いない。

これも各市町から応募がありまして、その中で選考して12いうことで、赤磐市もホストタウン登録してニュージーランド女子ホッケーが来るということで、その辺では東備地域だったらうちだけです。ほかの市町も手を挙げとったんですけど、ふたをあけてみればうちだけなんですけど。ちょっと玉野へ行って真庭へ行って赤磐へ行って、そこから美作いうて、ルートの的にはちょっと厳しいですけど、5月19日は広島に入ってきて、22日は鳥取に抜けるというルートなんで、これについても実行委員会が決めてこういうルートで行くのが決まったみたいです。

○内田教育長 ほかにはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 ご希望の方は是非応募していただきたいと思います。よろしくお願ひします。

では次に、その他の案件が何かありますか。

○安本課長 教育長。

○内田教育長 教育総務課長。

○安本課長 教育総務課安本。

こちらのその他のところに上げておりませんが、来週の24日月曜日に吉井中学校プールの開所式を10時から予定させていただいております。教育長さん、また教育委員さんの方にもご参加いただけるということですので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○内田教育長 では、来週月曜日には吉井中学校のプールの開所式があります。ご参加可能な方はよろしくお願ひします。

その他にはありませんか。

○安本課長 はい、ありません。

○内田教育長 では、その他にないようでしたら、次回の定例会開催日を議題としま

す。

ご意見をお願いします。

○安本課長 教育長。

○内田教育長 教育総務課長。

○安本課長 教育総務課安本です。

それでは、来月の開催日につきましては令和元年7月25日木曜日午後3時からとさせていただきますと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○内田教育長 それでは、次回の定例会開催日を7月25日木曜日午後3時からに決定することにご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○内田教育長 異議なしと認めます。それでは、次回の教育委員会定例会は令和元年7月25日木曜日午後3時からと決定いたします。

以上をもちまして本会に付議されたすべての案件が終了となりました。

これをもちまして令和元年度第3回赤磐市教育委員会定例会を閉会とします。

お疲れさまでした。